

平成29年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	映像等近未来技術活用促進事業			担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	情報流通高度化推進室		室長 洪谷 闘志彦		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第70号			関係する計画、通知等	日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定) 世界最先端IT国家創造宣言(平成28年5月20日閣議決定) 健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更閣議決定)				
主要政策・施策	高齢社会対策、IT戦略			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療分野における利用者ニーズを踏まえた4K・8K技術の社会実装を加速し、世界における我が国の技術優位性を確立するとともに、遠隔医療の質の向上等を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・8K技術を活用した遠隔医療に必要な技術検証 ・衛星通信によるリアルタイム性(伝送遅延の有無等)の検証や遠隔医療(病理診断等)に必要な水準の映像再現性の検証等を通じた8K遠隔医療モデルの確立								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	0	0	99	0	0		
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0		
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0	0		
		予備費等	0	0	0	0	0		
		計	0	0	99	0	0		
	執行額	0	0	97					
	執行率(%)	-	-	98%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	98%					
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	その他	0	0	本事業は平成28年度に終了したため。					
	計	0	0						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
	平成28年度中に、参照可能な8K遠隔医療モデルを構築する	モデルの件数	成果実績	件	-	-	3	-	3
			目標値	件	-	-	1	-	1
			達成度	%	-	-	300	-	300
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	総務省が構築したモデル件数								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
	実施プロジェクトの件数	活動実績	件	-	-	3	-	-	
		当初見込み	件	-	-	1	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位あたりコスト =執行額/実施したプロジェクト件数	単位当たりコスト	百万円	-	-	32	-		
計算式		百万円/件数		-	-	97/3	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	V. 情報通信(ICT政策)			
	施策	2. 情報通信技術高度利活用の推進			
	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)
		医療・介護・健康分野におけるICTを利活用したICTシステムに関する技術仕様等の策定、モデルの確立	8K技術を活用した遠隔医療のモデルの構築	28	8K技術を活用した遠隔医療のモデルを構築
					施策の進捗状況(実績)
衛星通信によるリアルタイム性(伝送遅延の有無等)の検証や遠隔医療(病理診断等)に必要な水準の映像再現性の検証等を通じ、8K遠隔医療モデル(病理診断、皮膚科診断支援)を構築した。					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係					
8K技術を活用した遠隔医療に必要な技術検証等を実施することにより、その成果を踏まえた8K技術を活用した遠隔医療等モデルの普及展開につながり、医療・教育資源の不足・偏在などが解消されることとなるため、ICT利活用により社会課題の解決を推進することに寄与する。					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、超高齢社会に突入した我が国が直面している生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な社会的課題の解決に寄与するものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、超高齢社会に突入した我が国が直面している生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な社会的課題の解決に寄与するものであることから、国民のニーズに応えるべく、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、日本再興戦略、世界最先端IT国家創造宣言、健康医療戦略に盛り込まれていることから、国費を投じて国が実施する優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	請負先の選定にあたっては、一般競争入札を実施し妥当性・競争性を確保。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業の成果を利用した事業の継続、新事業・サービスの実施にあたっては、実施する民間企業等の経費負担によることとしていることから、負担関係は妥当であると認められる。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	請負先の選定にあたっては、一般競争入札を実施し妥当性・競争性を確保。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れの中間段階での支出については、より効率的に事業を実施するために新に必要なものに限定している。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実施に当たって、実施計画書の提出を求めるなど、事業目的に即して真に必要なものに限定して実施。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業実施に当たって、請負業者と綿密な調整を行い、総務省から適切な指摘・助言を行うことにより、適切な予算の執行に努めている。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	医療・介護・健康分野における情報連携基盤等のICTシステムを活用したモデルの確立等に向けてモデルの有効性について検証を実施しており、見合ったものとなっている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施に当たって、請負業者と綿密な調整を行い、総務省から適切な指摘・助言を行うことにより、適切な予算の執行に努めている。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の予定通り、医療・介護・健康分野における情報連携基盤等のICTシステムを活用したモデルの確立等に向けてモデルの有効性について検証を実施しており、見合ったものである。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業への提案の際、受託者は本事業後も継続して事業を実施することとしている。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	・本事業は、超高齢社会に突入した我が国が直面している生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な社会的課題の解決に寄与するものであることから、国民のニーズに応えるものであるとともに国が実施すべき事業である。また、日本再興戦略、世界最先端IT国家創造宣言、健康・医療戦略に盛り込まれていることから、国費を投じて国が実施する優先度の高い事業であり、これらの政府の計画に基づき、関係省庁と連携して、事業を実施した。						
	改善の方向性	-						
外部有識者の所見								
行政事業レビューシートでは、「事業の概要」の欄には何をするかという手段を記述、「活動指標及び活動実績(アウトプット)」には事業によって得ることができた直接的な成果を記述、「成果目標及び成果実績(アウトカム)」の欄にはアウトプットを得たことによってどのような上位の目的が達成されたか、どのように上位の目的に貢献できたか、を記述するという目的と手段の連鎖構造が示されるようにできています。しかし本シートの内容を見ると、これら3つの記述が皆同じで「8K遠隔医療モデルの確立平成28年度中に、4K・8K技術等を活用したICTシステムのモデルを構築」という内容になっています。モデルが3つできたことはわかりますが、それが上位の目的(アウトカム)の達成にどの程度貢献したのかが示されていません。すべき仕事はした、という内容なので、それによってどのような良いことが起こるのか、成果が知りたいと思いました。								
行政事業レビュー推進チームの所見								
終了予定	平成28年度をもって事業終了。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
り予定終了通	本事業は、8K遠隔医療モデルを確立すること(アウトプット)により、当該モデルを参照可能な形として提示することをアウトカムとするものである。ご指摘を踏まえて、その点が明確になるよう、アウトカムの記載を修正させていただいた。平成29年度に実施している医療・健康データ利活用基盤高度化事業において、本事業で確立したモデルを参照した実証事業を行っている。							

備考																																																																	
関連する過去のレビューシートの事業番号																																																																	
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-																																																												
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0009																																																												
平成28年度	新28-0009																																																																
<p>※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <div style="text-align: center;"> <p>総務省 97百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 【一般競争契約(総合評価)】 <ul style="list-style-type: none"> A 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 78百万円 【8K技術を活用した遠隔医療モ B 学校法人慶應義塾大学 18百万円 【8K等高精細映像技術の活用による遠隔在宅医療に関する調査研究の請負】 <ul style="list-style-type: none"> 【再委託】 <ul style="list-style-type: none"> C 医療法人社団健育会 1.7百万円 D 事務費 1百万円 </div>																																																																	
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">A.株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">B.学校法人慶應義塾</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">費目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> <th style="width: 15%;">費 目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>現地調査、報告書取りまとめ</td> <td style="text-align: right;">6</td> <td>人件費</td> <td>検証項目調査、報告書取りまとめ</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td>設備費等</td> <td>8K撮影設備環境構築、通信環境整備</td> <td style="text-align: right;">72</td> <td>設備費等</td> <td>通信装置・環境整備</td> <td style="text-align: right;">12.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">78</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">16.3</td> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">C.医療法人社団健育会</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">D.事務費</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">費 目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> <th style="width: 15%;">費 目</th> <th style="width: 45%;">使 途</th> <th style="width: 20%;">金 額 (百万円)</th> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>検証項目調査</td> <td style="text-align: right;">1.7</td> <td>諸謝金・旅費</td> <td>諸謝金、職員旅費、委員等旅費</td> <td style="text-align: right;">0.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>調査費</td> <td>速記</td> <td style="text-align: right;">0.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.7</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> </tbody> </table>					A.株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			B.学校法人慶應義塾			費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	人件費	現地調査、報告書取りまとめ	6	人件費	検証項目調査、報告書取りまとめ	4	設備費等	8K撮影設備環境構築、通信環境整備	72	設備費等	通信装置・環境整備	12.3	計		78	計		16.3	C.医療法人社団健育会			D.事務費			費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	人件費	検証項目調査	1.7	諸謝金・旅費	諸謝金、職員旅費、委員等旅費	0.8				調査費	速記	0.2	計		1.7	計		1
	A.株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			B.学校法人慶應義塾																																																													
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)																																																											
	人件費	現地調査、報告書取りまとめ	6	人件費	検証項目調査、報告書取りまとめ	4																																																											
	設備費等	8K撮影設備環境構築、通信環境整備	72	設備費等	通信装置・環境整備	12.3																																																											
	計		78	計		16.3																																																											
	C.医療法人社団健育会			D.事務費																																																													
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)																																																											
	人件費	検証項目調査	1.7	諸謝金・旅費	諸謝金、職員旅費、委員等旅費	0.8																																																											
				調査費	速記	0.2																																																											
計		1.7	計		1																																																												
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)																																																																	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載																																																																	
					チェック																																																												

